

自己評価報告書

(令和5年度 学校評価)

学校法人山口学園
長崎公務員専門学校

※ 今年度の実績は全て令和6年1月5日時点のものとなります。

1. 教育理念・目的

本校は、主に国・地方公共団体のあらゆる分野に適応できる一般教養，専門知識及び社会性を身につけた人材を育成し，もって社会に貢献することを目的とする

2. 教育目標

- ① 学生一人ひとりの夢実現を目指す
- ② 高い倫理観と豊かな人間性をもった社会人の育成を目指す

3. 育成人材像

- ・主に国・地方公共団体のあらゆる分野に適応できる一般教養，専門知識を身につけている人
- ・高いコミュニケーション能力を有し，地域社会の一員として貢献することができる人
- ・地域および社会の問題を発見し，自ら考え，実践する力を有している人

4. 運営方針

- ① 学生の満足度を向上させる
- ② 教職員の満足度を向上させる
- ③ 保護者・地域からの信頼度を向上させる

5. 本年度の重点努力目標

- ①公務員試験一次合格率100%
- ②社会人としての意識や行動，基本的マナーの育成

6. 評価項目別取組状況

評語について

- A 十分達成(達成率90%以上)
- B 概ね達成(達成率90%未満～70%以上)
- C 取り組まれているが成果が十分でない(達成率70%未満～50%以上)
- D 取組が不十分である(達成率50%未満)

大区分	R5評価項目	評価指標	判断理由	根拠資料	ページ数	評価案
教育理念・目的 育成人材像	1-1 学校の教育理念・目的, 教育目標, 育成人材像を教職員は理解しているか。	<input type="checkbox"/> 教育理念・目的, 教育目標, 育成人材像は体系化されており, 文書などによって明確に定めているか。 <input type="checkbox"/> 育成人材像は, 本学の理念・目的及び, 主な官庁の求めるものに沿っているか。 <input type="checkbox"/> 教育理念・目的, 教育目標, 育成人材像を教職員は理解しているか。	<p>・学則, ホームページにおいて明記しており, 各教室にも掲示していることから, 体系化されていると言える。</p>	学則	1	A
			<p>・国家, 長崎県, 長崎市などの官公庁が求める人物像は近年で大きく変更しておらず, そのいずれにも沿っている。</p> <p>・教職員アンケートにおける「教育理念・目的, 教育目標, 育成人材像を教職員は理解しているか。」という設問に対し, 11名中11名(100%)の教員が「強くそう思う(4名)」「そう思う(7名)」と回答しており, このことを理解していると言える。</p>	長崎県が求める人材 教職員アンケート	54 56	
学校運営	2-1 運営方針に沿った, 学校運営がなされているか	<input type="checkbox"/> 毎年度, 運営方針に沿った事業計画書を作成しているか。 <input type="checkbox"/> 事業計画に沿った学校運営がなされているか。	<p>・毎年度, 運営方針に沿った事業計画書を作成している。</p> <p>・事業計画に記載の取り組むべき課題のうち, 教職員に関する事項について, 教員の一名増員を予定していたが, 教員と事務員がそれぞれ一名減となったこと, また学生に関する事項についても, 一次合格率, 最終突破率の各目標値を下回るなど, 結果に繋がらないものもあった。しかしながら, 学生に関する事項については, 前年度までの実績をもとに試験対策, 受験指導を計画通り行うことができ, その他の事項として計画していた「ホームページ」, 「学生管理システム」, 「高速印刷機」についても, 次年度の更新を目指し, 予定どおり仕様調整を進めることができしており, 全体として事業計画に沿った学校運営がなされている。</p>	令和5年度事業計画書 設備更新管理表	8 55	A

大区分	R5評価項目	評価指標	判断理由	根拠資料	ページ数	評価案
	2-2 業務の効率化が図られているか。	<input type="checkbox"/> 業務の効率化が図られているか。	・今年度は、企画提案書による提案が9件あり、そのうち7件を実施した。企画提案書によらないものも含めて、様式の変更や運用の変更、ガイダンス参加者のとりまとめにGoogleフォームを活用したり、クラス別合格者数や出願者数など数値が更新されるものについては、スプレッドシートで管理し、教職員が必要な情報を、常に共有できるようにするなど、ITの活用を進め、業務の効率化を図ることができた。教職員アンケートにおいても、「業務の効率化が図られていると感じるか」という設問に、11名中7名(63.6%)が「強くそう思う(2名)」「そう思う(5名)」と回答していることから、概ね教職員が実感できる程度には、業務の効率化を図ることができた。	企画提案実績一覧 教職員アンケート	57 56	B
	2-3 人事や給与に関する制度は整備されているか	<input type="checkbox"/> 人事や給与、就業規則等の学内の規程・規則については明確化し、教職員が見えるように公表しているか。 <input type="checkbox"/> 人事や給与、就業規則等の学内の規程・規則については、必要に応じて更新するなど、適切に運用しているか。	・就業規則、人事考課規程は明確に規定されており、教職員が誰でも閲覧できる共有フォルダ内に保管し、公表している。 ・人事考課については「人事考課票」を更新し、評価基準を具体的に記載することで、考課を客観的に行えるよう工夫した。また、就業規則においても、規定されていなかった「育児・介護休業等に関する規則」を年度内には完成させる予定で、適切に運用している。	就業規則 人事考課規程 人事考課票	16 43 48	A
	2-4 学生、教職員からの満足度は目標値を達成することができたか。	<input type="checkbox"/> 学生満足度100%を達成することができたか。 <input type="checkbox"/> 教職員満足度100%を達成することができたか。	・卒業生(R5.7月/10月)に対するアンケートにおいて、「入学してみてこの学校はどうでしたか?」という設問に82名中81名が「大変良かった(38名)」「良かった(43名)」と回答しており、満足度は98.7%で目標を達成することはできなかった。(3月卒業生の回答をもって確定)。 ・教職員アンケートにおいて、「現在の職場で働いていることに満足している」という設問に11名中9名が「強くそう思う(2名)」「そう思う(7名)」と回答しており、満足度は81.8%と目標を達成することはできなかった。	学生アンケート 教職員アンケート	58 56	B
	2-5 保護者・地域からの信頼度向上に繋がる取組ができたか。	<input type="checkbox"/> 保護者・地域からの信頼度向上に繋がる取組ができたか。	・保護者に対しては、模擬試験の結果報告は全ての学科で、動画による保護者向け進路ガイダンスおよび三者面談は高卒程度の学科で、毎月の出欠状況報告は教養重点科にてお知らせするとともに、学習面、生活面において問題があった場合には、個別に保護者にも情報を提供するなど信頼度向上に繋がる取組ができています。地域に対しては、ボランティア活動の奨励・支援を行うとともに、高校が行うキャリア教育・職業教育の取組(職業別体験ガイダンス)にも協力するなど、信頼度向上に繋がる取組ができた。 (ボランティア活動実績)1件(全10回) (職業別体験ガイダンス)20件(参加人数160人)	保護者向け進路ガイダンス ボランティア活動状況一覧 掃除ボランティア募集 高校進路ガイダンス参加一覧	59 60 61 62	A
	2-6 教育活動に関する情報公開がなされているか。	<input type="checkbox"/> 教育活動に関する情報公開がなされているか。	・ホームページの情報公開ページにおいて公開している。【前年度と同様】	ホームページ(法人情報)	53	A

大区分	R5評価項目	評価指標	判断理由	根拠資料	ページ数	評価案	
教育活動	3-1	教育理念・目的, 教育目標に沿った教育課程を編成・実施しているか。	<input type="checkbox"/> 教育理念・目的, 教育目標を達成するための教育課程を編成・実施しているか。 <input type="checkbox"/> 課程修了の認定基準および各科目の到達目標, 成績評価の基準について, 学生の理解を得ているか。	<p>様々な学生を受け入れるため, 昼間部および夜間部にそれぞれ複数の学科を設け, 学生が希望する進路への合格を支援できる教育課程を編成・実現している。【前年度と同様】</p> <p>・学生に対し学則を配付することに加え, 入学時オリエンテーションやホームルーム等でも説明・周知を図っている。その結果, 学生アンケートにおける「課程修了の認定基準について理解していた」という質問に対し, 82名中76名(92.7%)の学生が「強くそう思う(26名)」「そう思う(50名)」と回答しており, 高く評価されている。</p>	学生アンケート	58	A
	3-2	教育理念・目的, 教育目標を達成するために教職員の資質能力向上や授業改善が図られているか。	<input type="checkbox"/> 教職員に対し「目指すべき職員像」により, 求められる資質能力が示されているか。 <input type="checkbox"/> 教職員の資質能力向上のための取組が行われているか。 <input type="checkbox"/> 授業評価の実施・評価により改善が図られているか。	<p>・「目指すべき職員像」により, 具体的な資質能力を示すことができる。【前年度と同様】</p> <p>・教職員アンケートにおける「教職員の資質能力向上のための取組が行われていると感じるか」という質問に対し, 11名中6名の教員が「強くそう思う(1名)」「そう思う(5名)」と回答し, 全体の54.5%にとどまった。引き続き教職員の資質能力向上のための取組を進めていく。</p> <p>・教職員アンケートにおける「授業評価の実施・評価により改善が図られていると感じるか」という質問に対し, 11名中8名(72.7%)の教員が「強くそう思う(2名)」「そう思う(8名)」と回答した。引き続き授業改善を図るための取組を進めていく。</p>	教職員アンケート	56	B
学修成果	4-1	昼間部において目標とする学修成果が達成できたか。	<input type="checkbox"/> 昼間部一次合格率(一次合格者数/受験者数)100%は達成できたか。 <input type="checkbox"/> 昼間部突破率(最終合格者数/1次合格者数)90%は達成できたか。	<p>・昼間部全体の一次合格率は95.0%である。模擬試験において一定の点数に満たない者には授業終了後に強く自習を促し, 授業内容の理解度を図るため週一テストを実施したが, 目標値の100%には至らなかった。しかしながら100%を達成したクラスがあり, また2年目の学生は100%達成した。現在の取組を継続しつつ, 目標値に達するために必要な取組を進めていく。※1月5日時点の合格率</p> <p>・昼間部全体の突破率は67.0%であり, 目標値90%に対し, 74.4%の達成率である。学生一人一人に面接指導担当者をつけ, 面接に向けての教材「面接の心構え」を更新した。また入学試験時の面接で評価の低い学生に対してメンター制度により全体の底上げを図った。しかしながら目標値には大きく届かなかったため, 引き続き昼間部突破率上昇のために取組を進めていく。※1月5日時点の突破率</p>	クラス別合格実績	63	B

大区分	R5評価項目	評価指標	判断理由	根拠資料	ページ数	評価案	
学生支援	5-1	公務員採用試験に関する支援体制は整備され、学生の公務員志望意欲の醸成、職業理解に繋がられているか。	<input type="checkbox"/> 受験に関する支援体制を整備されているか。 <input type="checkbox"/> 支援体制は学生の公務員志望意欲の醸成、職業理解に繋がられているか。	<p>・学生が携帯端末などを用いてインターネット上で試験日程や願書案内状況、申込締切日などを随時確認できるようにしており、SPI試験に対する対策も準備するなど、受験支援体制を整備し運用している。学生アンケートにおいては「採用試験に関する説明は分かりやすく、指導も充実していた」という質問に対して、82名中80名(97.6%)の学生が「強く思う(40名)」「そう思う(40名)」と回答し、高く評価されている。</p> <p>・官公庁ガイダンスを実施し、合計21回、のべ276名の学生が参加した。官公庁ガイダンス実施後の学生への聞き取りでは、学習意欲の高まりや志望官庁への理解が進んでいる。</p>	学生アンケート	58	A
		5-2	学生相談に関する体制は整備されているか。	<input type="checkbox"/> 学生に対して、相談しやすい環境を作っているか。 <input type="checkbox"/> 相談記録を保存・情報共有しているか。 <input type="checkbox"/> 配慮希望者に対する支援体制は整備されているか。	<p>・悩みや困りごとは担任が聞き取り、直接は言いにくい事などにも対応するため、意見箱を設置しており、学生アンケートにおいては「学校へ相談しやすい環境が作られており、適切な対応が行われた」という質問に対して、82名中77名(93.9%)の学生が「強く思う(35名)」「そう思う(42名)」と回答し、高く評価されている。なお相談数は、通年で集計を開始した令和2年度以降、30件近くを推移しており各教職員が個別相談に対しても適切に対応を行っている。</p> <p>・「相談・指導経過記録」を作成、共有フォルダに保存・情報共有している。【前年度と同様】</p> <p>・入学時の配慮希望申請書を基に支援を行う体制は整備されている。今年度の支援対象者はいなかった。(昨年度4名、一昨年度5名)</p>	学生アンケート	
	5-3	長欠及び成績不振による退学率の低減が図られているか。	<input type="checkbox"/> 長欠及び成績不振による昼間部退学率3%以内は達成できたか。 <input type="checkbox"/> 長欠及び成績不振による退学者数、並びにその要因、傾向、指導の経過を把握し、退学率の低減が図られているか。	<p>・退学者数は令和5年度昼間部入学者※100名に対し、13名である。その中で、長欠及び成績不振による昼間部退学者数は4名で、その退学率は4.0%で、前年度よりも0.7ポイント改善した。</p> <p>※令和4年11月及び令和5年の入学生・編入学生</p> <p>・必要に応じて対象の学生と面談を行い、記録を残して、退学者数やその要因や傾向、指導の経過を把握し、共有している。職員が一丸となり退学率の低減に努めている。</p>	退学者一覧	66	B

大区分	R5評価項目	評価指標	判断理由	根拠資料	ページ数	評価案
	5-4	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	<input type="checkbox"/> 学校独自の経済的支援制度を整備しているか。 <input type="checkbox"/> 学外の経済的支援制度を学生に情報提供する体制が整っているか。	<p>・校納金の分割納入制度があり、制度の利用者は25名(申込者25名)である。</p> <p>・日本学生支援機構の奨学金を案内しており、利用者は合計21名である。</p>	授業料分割納入実績一覧 67 日本学生支援機構奨学金利用者数 68	A
	5-5	卒業生への支援体制はあるか。	<input type="checkbox"/> 卒業生についても公務員採用試験に関する支援体制を整備し、最終合格へと導くことできているか。 <input type="checkbox"/> 就職後の悩み、相談に適切に対応しているか	<p>・卒業後も公務員採用試験を受験する学生に対して模擬試験の案内を送付している。また、携帯端末などを用いてインターネット上で試験日程や願書案内状況、申込締切日などを随時確認できるようにしている。学生の状況や学歴などを考慮して担任が個別に連絡を取ることを行っている。なお、一次試験合格者に対しては面接指導も行っており、3名を最終合格へと導くことができた。</p> <p>・就職先での悩み、不安などの個別相談に対応している。【前年度と同様】</p>	過年度卒業生受験結果 69	A
教育環境	6-1	施設・設備は、学校の教育理念・目的、教育目標を達成するためのものとして相応しいものになっているか。	<input type="checkbox"/> 自習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか。	<p>・土日、放課後に利用できる自習室を整備しており、学生アンケートにおいては「自習室の開放など、自習するための環境が整っていた」という質問に対して、82名中79名(96.3%)の学生が「強くそう思う(35名)」「そう思う(44名)」と回答しており、高く評価されている。【前年度と同様】</p>	学生アンケート 58	A
			<input type="checkbox"/> 学校の教育理念・目的、教育目標を達成するために、施設・設備の維持・改修を図っているか。	<p>・施設・設備を管理し、必要に応じて改修を行った。学生アンケートにおいては「学校の施設・設備は十分に整っていた」という質問に対して、82名中78名(95.1%)の学生が「強くそう思う(25名)」「そう思う(53名)」と回答しており、高く評価されている。</p>	設備更新管理表 55 学生アンケート 58	

大区分	R5評価項目	評価指標	判断理由	根拠資料	ページ数	評価案	
学生募集	7-1	学生募集活動が適切かつ効果的に行われているか。	<input type="checkbox"/> 資料請求や説明会、ガイダンス等への参加を行った入学検討者を本学への入学に繋げられたか。	<p>・学校説明会参加者が本学への入学に繋がった割合(参加者出願率)は、61.0%であった。近年、学校説明会とは異なる日程で個別説明の希望者が増えており、個別説明を受けた方は100%出願に至っている。複数の参加者を対象として実施する学校説明会においても、参加者一人ひとりに対し丁寧な対応を心掛け、本学への入学に繋げていきたい。</p>	説明会等参加者と出願率	70	B
			<input type="checkbox"/> 市場に対する募集活動が適切かつ効果的に行われているか。	<p>・学校説明会参加者が説明会の開催を認知した主な方法は、①ホームページ(41.9%)、②家族・知人などからの情報(22.6%)、③チラシ(13.7%)、④テレビCM(6.5%)、⑤学校(大学、高校)のガイダンス(4.8%)等となっている。このうち、本校の直接的な発信による方法(②以外)が66.9%、約7割を占めており、市場に対する募集活動は適切かつ効果的に行われている。</p>	学校説明会の開催を知った手段について	71	
			<input type="checkbox"/> 高等学校等接続する機関との間で、必要な情報共有が行われているか。	<p>・高等学校等接続する機関と連携を図りながら、機会を設け、積極的に学生に情報提供を行い、必要な情報の共有を行った。</p> <p>(参考)ガイダンス(説明会) ・高校 参加回数 35回/参加人数 185人 ・大学 参加回数 06回/参加人数 129人</p>	高校進路ガイダンス参加一覧	62	
			<input type="checkbox"/> 各学科の入学者は定員の80%を達成できたか。	<p>・認可学科において定員の80%近くを充足した学科はあったものの、各学科とも入学者は定員の80%には届かず、平均としては定員の60.8%の充足率にとどまった。引き続き高等学校及び大学等に対し、本学の教育内容、教育成果等の情報の積極的な提供に努め、目標の達成に向けて取り組んでいく。 【前年度と同様】</p>	大学訪問・進路ガイダンス(説明会)一覧	72	
財務	8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	<input type="checkbox"/> 収入と支出はバランスがとれているか(事業活動収支計算書(公務員)における「経常収支差額」が収入超過であるか)。	<p>・収入超過である。 (経常収支差額:(R3年度)181,662円→(R4年度)9,896,467円)</p>	前年度事業活動収支計算書	74	A
			<input type="checkbox"/> 負債は返還可能な範囲で妥当な数値となっているか(貸借対照表(公務員)における「負債の部合計」が、「現金預金額」に収まっているか)。	<p>・収まっており、妥当な数値である。 (現金預金:369,563,918円 負債の部合計:74,441,674円)</p>	前年度貸借対照表	77	

大区分	R5評価項目	評価指標	判断理由	根拠資料	ページ数	評価案	
	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	<input type="checkbox"/> 適切な予算管理を行っているか。 <input type="checkbox"/> 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか。	<p>・予算作成に際して、理事長査定を実施し、適切な予算管理を行っている。</p> <p>・行っている(5月に実施)。</p>			A
	8-3	財務について会計監査が適正に行われているか。	<input type="checkbox"/> 財務について会計監査が適正に行われているか。	・行っている(5/11監査実施)。	前年度監査報告書	79	A
	8-4	財務に関する情報公開がなされているか。	<input type="checkbox"/> 財務に関する情報公開がなされているか。	・ホームページの情報公開ページにおいて公開している。【前年度と同様】	ホームページ(法人情報)	53	A
法令等の遵守	9-1	関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	<input type="checkbox"/> 関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	・学校教育法や専修学校設置基準に定められている規則を遵守し、所轄庁へ必要な書類の提出を行っている。【前年度と同様】			A
社会貢献・地域貢献	10-1	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	<input type="checkbox"/> ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に支援・奨励しているか。	<p>・令和5年6月～7月にかけて、ボランティア活動の募集を行い、学校周辺のごみ拾いを行った。なお、ボランティア活動は全部で10回実施し、合計約50人の学生が参加した。</p> <p>また、学生アンケートにおける「学校がボランティア活動を奨励、支援していた。」という質問に対し、82名中77名(93.9%)の学生が「強く思う(28名)」「そう思う(49名)」と回答しており、高く評価されている。</p>	ボランティア活動状況一覧	60	A
	10-2	高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	<input type="checkbox"/> 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	・高校進路ガイダンスの実施が27回となっており、直近3年間の平均18回を大きく上回っているため、しっかり取組を行ったと言える。	高校進路ガイダンス参加一覧	62	

7. 本年度の総合的な評価結果

令和5年度 自己評価	令和4年度 自己評価	理由
B	B	<p>・24項目中18項目が”A:十分達成”で全体の75.0%に留まった。</p> <p>・また、今後取り組むべき課題としていた「昼間部一次合格率100%(4-1)」、「昼間部突破率90.0%(4-1)」、「業務の効率化(2-1)」、「教職員の資質能力向上(3-2)」がいずれも”B:概ね達成”に留まった。</p> <p>以上のことから、総合的な評価結果については”B:概ね達成”とした。</p>

8. 今後取り組むべき課題(改善策)

(1)学生に関すること

課題	具体的な取り組み方法
<p>(評価項目4-1より)</p> <p>昼間部1次合格率の向上</p> <p>参考)令和5年度:95.0% (2024年1月5日現在)</p>	<p>・初級主任・上級主任を中心として、今年度の1次合格に関する分析結果をもとに、必要に応じてカリキュラムや受験指導について対策を講じる。</p> <p>・各クラス担任は、模擬試験の結果や生活態度などから学生の筆記試験に対する理解度・公務員試験に対するモチベーションを把握し、必要に応じて自習や科目担当者への質問を促したり、面談を実施したりするなどの対策を講じる。</p> <p>・各科目担当教員は、小テストや模擬試験などで担当する教科に対する学生の理解度を把握し、必要な対策を講じる。</p> <p>・SPI試験対策については、これまで教養科目のカリキュラムの隙間で、授業や模擬試験を実施してきたが、大卒・高卒含め多くの官庁で利用されるようになってきたことから、SPI試験対策を主としたカリキュラムの構築を検討する。</p>

<p>(評価項目4-1より)</p> <p>昼間部突破率の向上 ※突破率=最終合格者数/1次合格者数</p> <p>参考)令和5年度:67.0% (2024年1月5日現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初級主任・上級主任を中心として、今年度の人物試験に関する分析結果をもとに、必要に応じて学校が行う人物試験対策について対策を講じる。 ・各クラス担任は、各クラスで行う面接指導を通して、各学生が職業探求や自己分析を行うよう指導する。また、身だしなみや基本動作などについても、日常から意識させる。 ・各面接担当教員は、面接カードの添削や模擬面接を通して、人物試験に対応できる力を醸成する。また、人物試験突破が困難な学生については、メンター制度を活用し、1次試験合格前から必要な対策を講じる。 ・メンター制度については、各教員が行った取り組みとその結果を共有するなど、制度のさらなる充実を検討する。
--	---

(2)教職員に関すること

課題	具体的な取り組み方法
<p>(評価項目2-2より)</p> <p>「業務の効率化」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校長は、教職員の働き方を見直し、今後の採用活動の妨げになる可能性のある「土曜出勤」を「週休2日制」とできるよう調整する。 ・校長は、業務を目的別に整理し、重複する業務、不要な業務については見直しを図る。 ・各担当者が自身の業務については常に引き継ぎ書を作成・更新し、常に効率化を検討する。
<p>(評価項目3-2より)</p> <p>「教職員の資質能力向上」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校長主導のもと、これまでできなかった資質能力向上のための仕組みづくりを行う。

(3)保護者に関すること

課題	具体的な取り組み方法
なし	